

2016年10月18日

## 本日の討議ポイント

1. 2020年大会に関する世論と関心
2. 今回の再調査の意味合い
3. 調査報告書のポイント
4. 今後について

## 1. 2020年大会に関する世論と関心

- リオ大会後の関心の高まり・・・10月7日のパレードには80万人が参加(60%増)
- 復興支援の当初理念への回帰の声

## 2. 今回の再調査の意味合い

- 東京都は深刻な信頼喪失問題に直面
  - ー 前任2名の知事が金銭問題で辞任
  - ー 豊洲市場プロジェクト問題(5,800億円)
  - ー オリ・パラ予算の増大への懸念
- 9月29日の調査報告書(Ver0.9)について
  - ー 都政改革本部の調査チームが知事に提案
  - ー 知事的意思決定は10月末

### 3. 調査報告書のポイント

(1)2020年大会の予算高騰やレガシーへの社会的関心

- － 前知事が3兆円と予想（2015年10月）
- － 国民の85% がオリ・パラのコストの検証を期待
- － 同じく80% が会場の見直しを期待
- － 同じく78% がボート会場の変更を期待

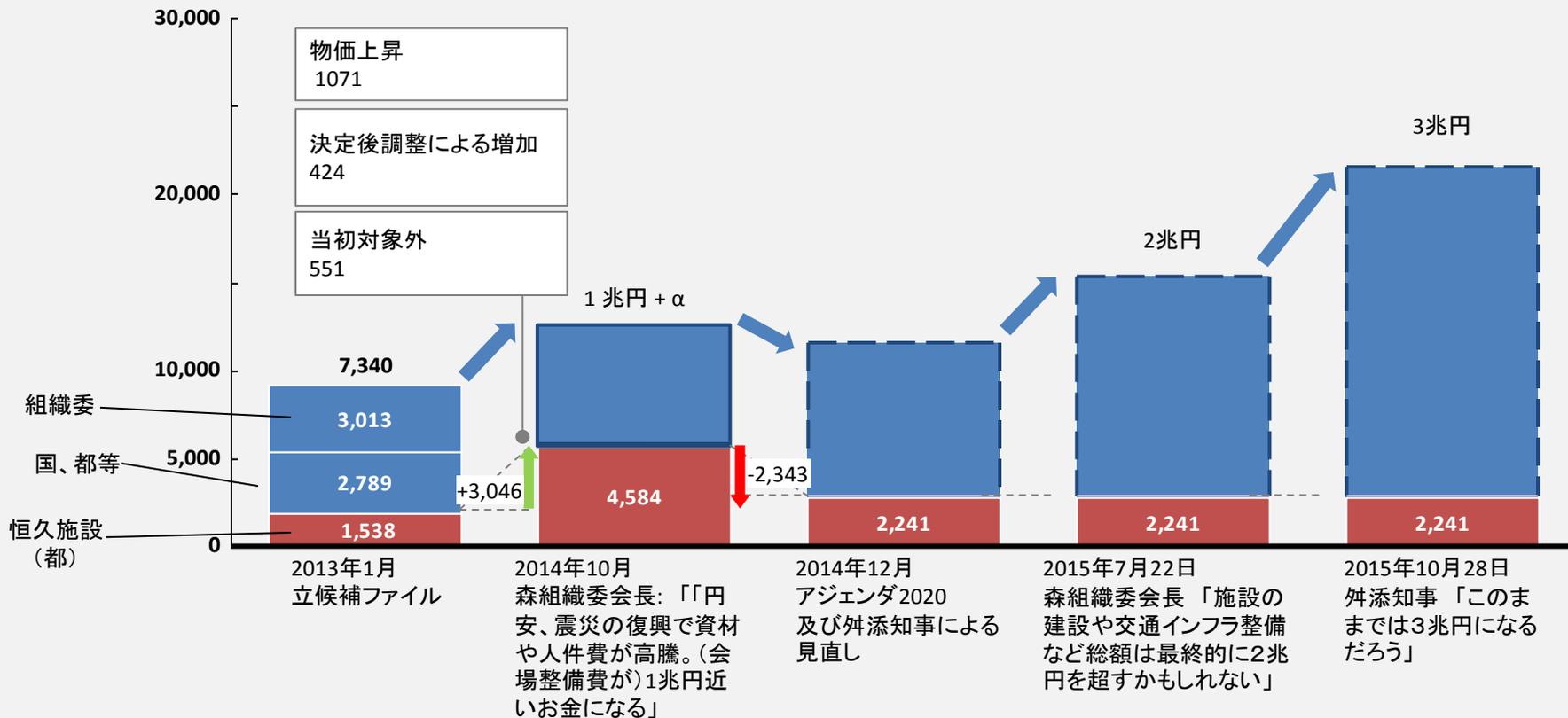
(2)組織委員会における予算不足(1.5～2.5兆円)は、東京都の  
納税者の負担

(3)主要3恒久施設は、合理化もしくは都外の恒久施設に会場を変更

- － 海の森
- － アクアティクスセンター
- － 有明アリーナ

# 2020年大会の総費用は逐次改訂されてきたが、 とめどなく費用が増える懸念につながっている

オリンピック開催費用の推移<sup>1</sup> (億円)



<sup>1</sup> 概数

注: 都 \* の部分は恒施設設分のみを計上

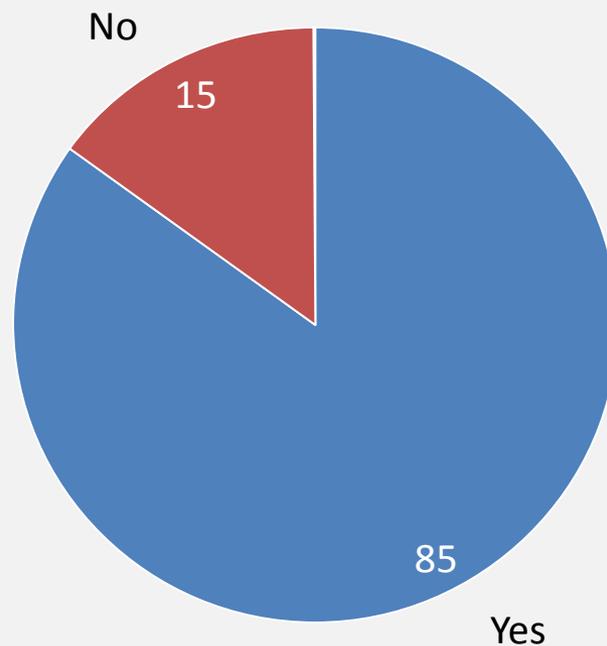
# 多くの国民は、東京都が2020年大会の開催費用を検証する努力を支持

%

## 問い

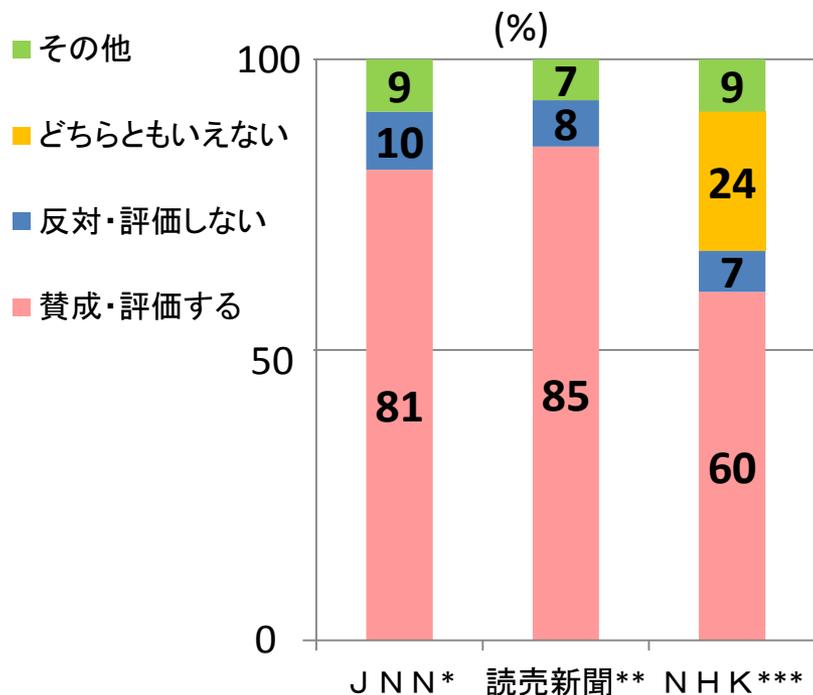
- 小池都知事の東京オリンピック・パラリンピック開催費の検証について賛成ですか？

## 回答

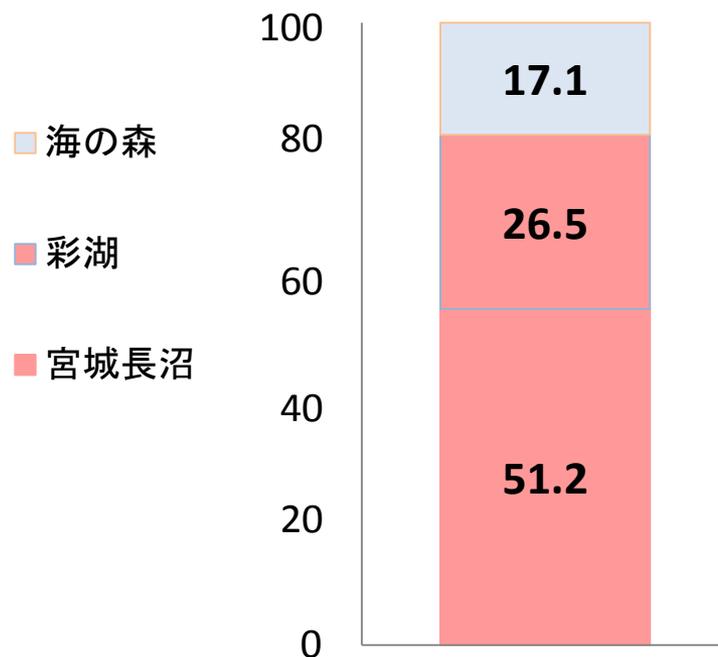


# 最近の世論調査の結果

## オリンピック施設の見直しに関する世論調査



## ボート会場の変更に関する世論調査



\* JNN世論調査(2016.10.1~10.2)

3施設に関する報告書の提言について

\*\* 読売新聞全国世論調査(2016.10.7~10.9)

オリパラ一部施設の整備計画見直しについて

\*\*\*NHK世論調査(2016.10.8~10.10)

オリパラ競技会場計画に係る大幅な見直しの提案について

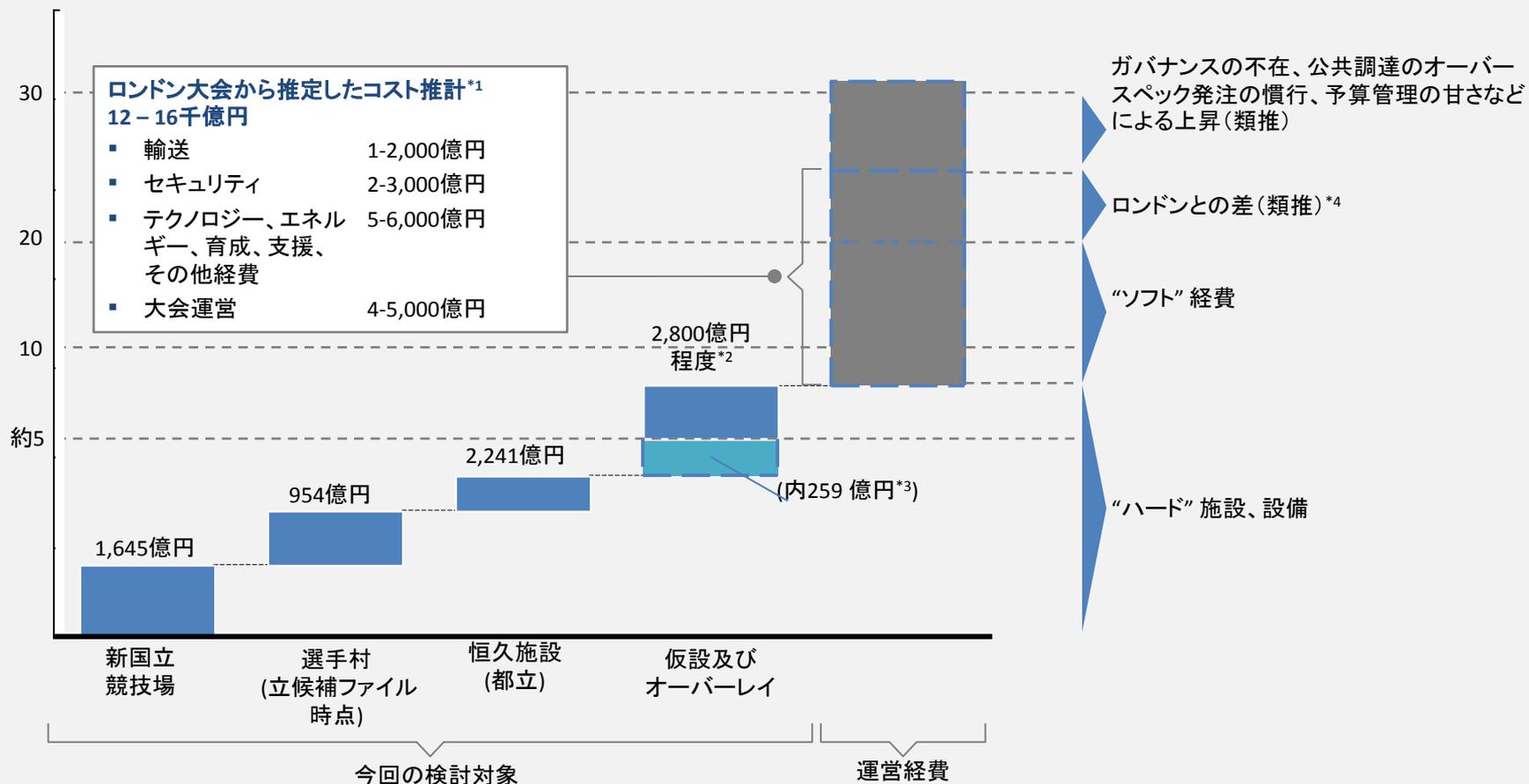
FNN世論調査(2016.10.15~10.16)

今のままでは、開催総費用は3兆円を超える可能性がある

## 2020大会開催総費用について

調査チーム推計

(千億円)



\*1 ロンドン大会の全体コスト117億£(為替レート変動幅は過去10年)

\*2 当初、約800億円と見込んでいた仮設経費が、恒設施設と同様に3~4倍になると仮定した場合の額

\*3 有明体操競技場 組織委員会の発注額(平成28年8月1日付)

\*4 大会参加者数、夏の暑さやエリアの広さ、警備レベルなど、ロンドンとの条件の違い

資料: オリンピック・パラリンピック準備局及び組織委員会のヒアリングをもとに作成

# 3つの恒久施設の課題と東京都の代替案の概要

	予算	課題	代替案
海の森	300～491億円 (さらに縮減の可能性もある)	<ul style="list-style-type: none"><li>－レガシープランが弱い</li><li>－低い後利用?(年間35万人の利用者見込み)</li><li>－維持管理費が不明</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>－長沼(宮城県)に変更</li><li>・新しい高速道路が完成</li><li>・羽田空港、成田空港及び東京駅から2時間</li></ul>
アクアティクスセンター	683億円	<ul style="list-style-type: none"><li>－座席数が過大(20,000席)</li><li>－減築費用が発生(屋根の事後リフトダウン方式)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>－建物を縮小(座席を減らす)</li><li>－他の可能な会場を検討</li></ul>
有明アリーナ	404億円	<ul style="list-style-type: none"><li>－大会後の収支への懸念</li><li>－展示やコンサート会場としての競争力が乏しい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>－利用可能な東京以外の既存アリーナの活用</li></ul>

競技施設は国や都の他、民間や他の自治体が提供

## 2020大会競技施設一覧

		都	国(JSC含む)	他の自治体	民間
恒 久 施 設	既存施設 を利用 (含む一部 改修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京国際フォーラム</li> <li>・東京体育館</li> <li>・有明テニスの森</li> <li>・東京辰巳国際水泳場</li> <li>・東京スタジアム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立代々木競技場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたまスーパーアリーナ(埼玉県)</li> <li>・札幌ドーム(札幌市)</li> <li>・宮城スタジアム(宮城県)</li> <li>・埼玉スタジアム2002(埼玉県)</li> <li>・横浜国際総合競技場(横浜市)</li> <li>・幕張メッセ(千葉県)</li> <li>・江の島ヨットハーバー(神奈川県)</li> <li>・横浜スタジアム(横浜市)(予)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本武道館</li> <li>・国技館</li> <li>・霞が関カンツリー倶楽部</li> <li>・馬事公苑</li> <li>・伊豆ベロドローム</li> <li>・伊豆マウンテンバイクコース</li> </ul>
	新規に 建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明アリーナ</li> <li>・大井ホッケー競技場</li> <li>・海の森水上競技場</li> <li>・カヌースラローム会場</li> <li>・アーチェリー会場(夢の島公園)</li> <li>・オリンピックアクアティクスセンター</li> <li>・武蔵野の森総合スポーツ施設(※)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立競技(※) (オリンピックスタジアム)</li> </ul>		
	仮設施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明体操競技場</li> <li>・潮風公園</li> <li>・海の森クロスカントリーコース</li> <li>・お台場海浜公園</li> <li>・有明BMXコース</li> <li>・青海(予)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上自衛隊朝霞訓練場</li> <li>・皇居外苑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釣ヶ崎海岸(志田下ポイント) (予)</li> </ul>	

国  
又は  
都

組  
織  
委

\*武蔵野の森総合スポーツ施設、新国立競技場は、招致決定前より整備が計画されていた施設

資料:組織委へのヒアリングをもとに作成

立候補ファイルの原則のままでは、準備が進まない。新しいルールを早急に作るべき

## 立候補ファイルベースの分担ルール

		施設/建物の所有者					
		国	東京都	他自治体	民間		
競技施設関連コストの分担構造	その他発生コスト					+α	
	設備	オーバーレイ(大会期間限定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テント</li> <li>• プレハブ等</li> </ul>				
		大規模暫定設備(仮設インフラ*1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観客席</li> <li>• 競技用照明</li> <li>• 外構</li> <li>• フェンス</li> <li>• 空調</li> </ul>			組織委員会の負担	
施設	仮設	仮設(撤去)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物</li> <li>• インフラ</li> <li>• 底地</li> </ul>				
		仮設(恒久転用)					
	恒設	恒久(新設)	新国立競技場 1,645	2,241		選手村 954	約2,800億円 *2
		恒久(新設)	あり	あり	あり	あり	

\*1 組織委員会の表現; \*2当初、約800億円と見込んでいた仮設経費が、恒設施設と同様に3~4倍になると仮定した場合の額

# 競技施設関連コストの分担の考え方(案)

		施設/建物の所有者				
		国	東京都	他自治体	民間	
競技施設関連コスト	その他発生コスト	賃借料等				
	設備	オーバーレイ(大会期間限定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テント</li> <li>• プレハブ等</li> </ul>	組織委員会の負担 約400~800億円(?)		
		大規模暫定設備(仮設インフラ*1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観客席</li> <li>• 競技用照明</li> <li>• 外構</li> <li>• フェンス</li> <li>• 空調</li> </ul>	約500億円~(?)*2	約1,000~1,500億円(?)	約150億円~(?)
施設	仮設	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物</li> <li>• インフラ</li> <li>• 底地</li> </ul>			約150~300(?)	補助金(?)
			仮設(撤去)			
	恒設	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物</li> <li>• インフラ</li> <li>• 底地</li> </ul>				約150~300(?)
	恒久(新設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物</li> <li>• インフラ</li> <li>• 底地</li> </ul>	新国立競技場 1,645	2,241		選手村 954
	恒久(既存活用)		あり	あり	あり	あり

約2,800億円(?)

国の補助金(?)

- 各省
- 復興支援
- etc...

\*運営費は別途

\*1 組織委員会の表現; \*2 他自治体や民間への補助金を含む

資料: チーム想定

## 4. 今後について

都は組織委員会の予算不足の問題に次の2つの方法で関与すべき

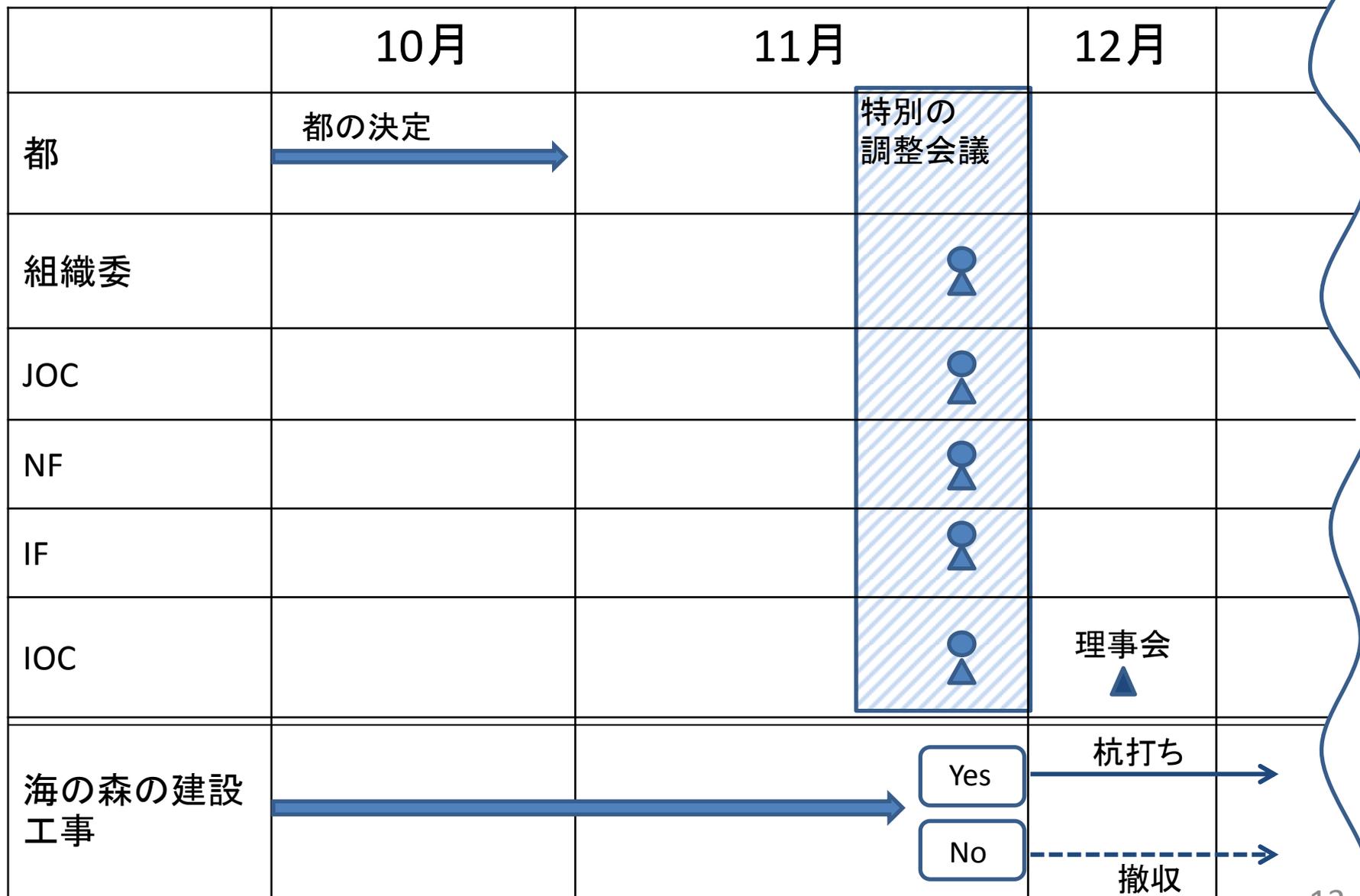
- －都内の仮施設の費用を支援(1,000～1,500億円)
- －予算不足問題の解決に向けて地方自治体との調整を買って出る

三大恒久施設問題に対処するための手順と時間枠

- －10月末：各施設の合理化や移転について、都としての結論を出す
- －11月末：都、IOC、JOC、IF、NF、組織委員会が解決の方法について合意し連携するための公開の会議\*を行う
- －12月末：IOC理事会に都の変更案を提出する

\*時間的制約に鑑み、都はIOCとIFに東京での会議への出席を要請

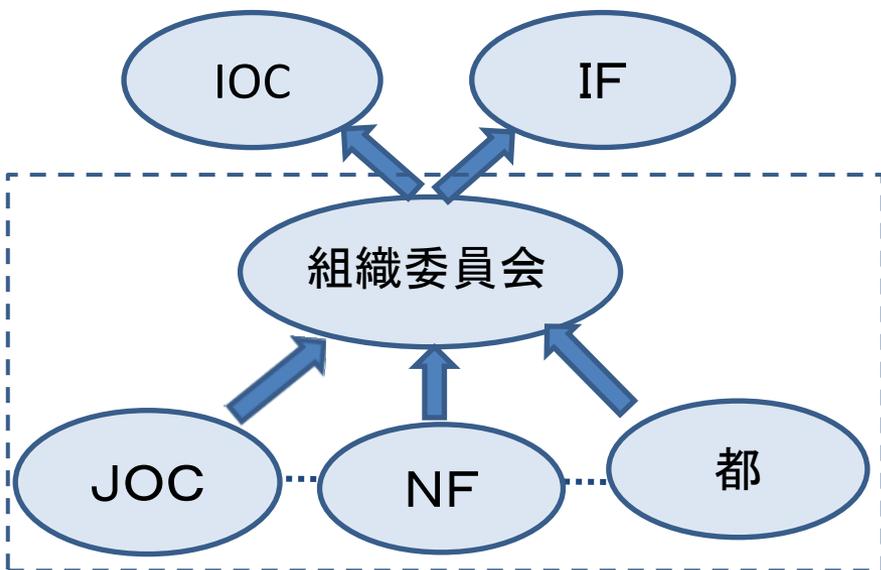
# 意思決定の所在と流れ



# 調整会議の進め方(案)

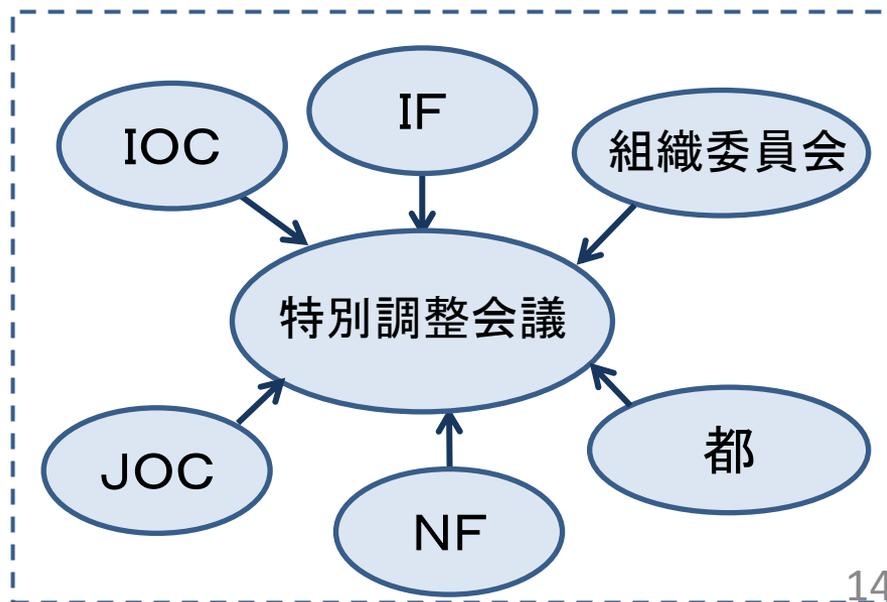
## これまでの標準的なプロセス

- JOC、NF、都及び組織委員会が国内で協議し調整
- 組織委員会がIF及びIOCと交渉
- 会議は非公開とする



## 今後のプロセス(案)

- 日本における全ての利害関係者が正式な調整会議の場でIOC及びIFと共同で協議
- 厳しい時間的制約のもと、東京都は責任を持って作業を期限内にまとめる
- 会議は一般に公開とする



# 付属資料

# 都府地上の新規恒久・仮設施設一覽

(億円)

種別	会場名	臨海／内陸 臨海…○ 内陸…着色	選手村 8km圏内 該当…○ 非該当…着色	底地所管局 港湾局…○ その他…同名	土地用途	工事の進捗						
						基本設計	実施設計	工事				
恒久	新規	① 海の森水上競技場	○	○	○	公園				491	20	
		② オリピックアクトゥイスセンター	○	○	○	公園				683	76	
		③ 有明アリーナ	○	○	○	オリンピック・パラリンピック準備局	公共公益用地*2				404	1
		④ カヌー・スラローム会場	○	○	○	下水道局	下水処理施設				73	8
		⑤ アーチェリー会場(夢の島公園)	○	○	○	建設局	公園				24	14
		⑥ 武蔵野の森総合スポーツ施設 <sup>1)</sup>	着色	着色	着色	オリンピック・パラリンピック準備局	スポーツレクリエーション				351	6
		⑦ 大井ホッケー競技場	○	○	○	○	公園				48	21
	既存	⑧ 有明テニスの森	○	○	○	公園				144	5	
	その他	⑨ その他	—	—	—	—				23		
	仮設	大会後の撤去	⑩ 有明BMXコース	○	○	○	住宅用地					65
⑪ 海の森クロスカントリーコース			○	○	○	公園					20	
⑫ お台場海浜公園			○	○	○	公園					15	
⑬ 潮風公園			○	○	○	建設局	公園					12
⑭ 青海(予定)			○	○	○	○	業務・商業用地					0
大会後に転用		⑮ 有明体操競技場*3	○	○	○	住宅用地						
その他	⑯ 選手村	○	—	—								

■ 恒設  
■ 仮設

恒設合計: 2,241  
仮設合計: 263  
合計: 2,504

整備費: グラフ上の仮設は立候補ファイルの金額  
 1 「武蔵野の森総合スポーツ施設」の仮設整備費(6億)は、「東京スタジアム」との合計額  
 2 公共公益用地…学校、体育館などの公共施設のための用地  
 3 有明体操競技場は設計・施工一括発注(259億円)が公表済みであるが、整備費の総額については精査中

	海の森 水上競技場	宮城長沼	戸田彩湖	長良川
既存ボートコース	無	有	無	有
恒久設備	491億円	50億円	202億円	24億円
仮設設備	28億円	301億円	356億円	328億円
仮設設備のうち観客 席・外構・仮棧橋 <sup>1</sup> 等	協議中	173億円	184億円	180億円
合計	519億円	351億円	558億円	352億円

1 費用見積の大部分が観客席・カメラレーンを含む仮設設備の建設費用  
(140億円 = 350万円 / m x 2000m x 2)